

日本大学藝術学部 × 脱下請けプロジェクト グループ ユニバーサルデザインによる インフォメーション機器の開発



● 21インチワイド画面タイプ・館内インフォメーション機器

■プロジェクト主旨

本プロジェクトは館内インフォメーション機器(通称:kiosk端末)をユニバーサルデザインの視点から研究開発を行ったものである。

様々な使用環境や状況を観察、実測し、その寸法や操作、動作域を確認し人間工学を基に数値化する。更にそれらの数値データをベースに高齢者や車椅子ユーザーを含む利用者にとってのアクセシビリティやユーザビリティについて議論、検討を行い、より多くの人々が容易に利用できる新しいインフォメーション機器の開発を目指した。

本研究において調査し、実験した数値・資料などが様々な機器に於ける高齢者や車椅子ユーザーなどの参考になればと思う。

このような機会を頂いた大田区「脱下請けプロジェクト」グループの皆様にご心より感謝申し上げます。

日本大学藝術学部 教授 肥田不二夫



■D-Project <期間:2009・7・27~2010・1・19>
学生メンバー(インダストリアルデザインコース3年生)
稲葉彩乃/小林竜也/佐藤亮仁/高橋友里/谷千尋/
田口暁彦/川村公則/本田晴教/横山直美(9名)
指導教員
教授・肥田不二夫/研究所教授・土田 修/講師・清水敏成
◀現状機器の使用・操作調査→問題確認
▼第一回中間発表(於:日本大学藝術学部)

▲初期アイデアスケッチ展開・発表・検討
▼計測実験=車椅子ユーザーの操作位置確認



▲デザイン展開→ラフレンドリング展開
▼最終プレゼンテーション(計測数値データ/レンダリング/フルサイズモデル発表)

▲モデル制作

